

うめっこ育て隊日記 ⑤6 平成30年11月1日(木)

贈られた折り紙を手にニコリ



今日は3年と4年の教室で「おはなし宅配便」と「まほうのくれよん」の皆さんが読み聞かせをしてくださいました。読み聞かせが終わって廊下に出ると、女の子が駆け寄り、「これ、プレゼントです。いつも読み聞かせをありがとうございます」と鳥の形の折り紙を掌に載せてくれました。受け取ったKさんは「ありがとう。とってもうれしい。一生の宝ものにするね。」と感激した様子。女の子もとても嬉しそうに笑顔で応えていました。こんなうれしいサプライズ、ますますやりがいを感じられますね！



うめっこ育て隊日記 ⑤7 平成30年11月8日(木)

今日は「おはなし宅Q便」と「まほうのくれよん」の皆さんとOさんが、2年と5年の教室で読み聞かせをしてくださる日。久しぶりに読み聞かせをしたAさんとKさん。「久しぶりで緊張しました」と終わってホッとした様子。終了後、別室でお茶を召し上がっていただきました。来月行う中学の読み聞かせの話題では、「中学生にふさわしい本はどんな本かしら」と悩む皆さんに「同じ本でも受け取り方が変わるので小学校高学年の本でも良いのでは」と先生からのアドバイスも。また、「2つのグループでも選ぶ本のジャンルが違って面白」「お互いを知って勉強になる」などなど、話が尽きませんでした。

女子会、いえ、良い情報交換会ができました



うめっこ育て隊日記 ⑤8 平成30年11月12日(月)



今日は村民会館で、中学校による「第3回宮田村ふるさとキャリア教育フォーラム」が開かれました。大ホールで、中学2年生の職場体験の発表の後、職場体験を受け入れてくださった事業所代表4人の方に、子どもたちへの思いを語っていただきました。その後、小さいグループに分かれ、将来宮田に残る人数が少ないことについて意見を交換し、最後は生徒の悩みなどに対し、事業所の皆さんからいろいろなアドバイスをいただきました。このグループディスカッションには約30人もの大人の皆さんが入り、子どもたちのいろいろな悩みに耳を傾け、自分の体験などを交え、真剣に答えてくださっていました。生徒の感想には、「私たちに期待してくれていると思った。その期待に応えたい」「働く大人のことを知るよい機会になった」「自分もこの人たちのようになりたい」「宮田はいいところだと改めて感じた」などなど、生徒たちの心に残るフォーラムになったようです。

地域で活躍される皆さんがお忙しい中、宮田の子どもたちのために時間を割いて参加してくださいました。地域の皆さんのお気持ちに心より感謝です。

舞台上で生徒の質問に一つ一つ丁寧に答える皆さん



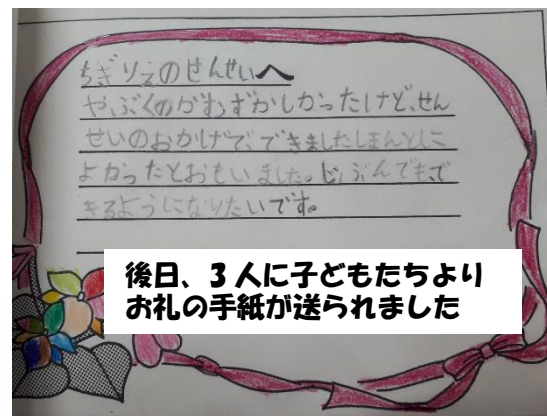
うめっこ育て隊日記 ⑤9 平成30年11月12日(火)

今日は1年1組の子どもたちが、3人の皆さんにちぎれ絵を教
えていただきました。

最初は「年を取っているから無理」とか「ずいぶん長いことや
っていないから」とか「ちぎり絵は1年生にはむずかしいので
は」とか「本当のちぎり絵は奥が深く、簡単に人に教えられるも
のではない」とか引き受けるのを悩んでいた皆さん。村の子ども
たちのために何とかお願いすると、「子どもたちが喜んでくれる
のなら」と引き受けてくださいました。

当日まで3人で何度も打ち合わせを重ね、いろいろと下準備
をして迎えた本番。最初は子どもたちも少しまごつきましたが、
そのうち、コツをつかんで、失敗しても足して貼れば全然問題な
いということを見出し、どんどん楽しくなって、最後は個性豊かな
作品が出来上がりました。

終了後、「あんなに悩んだ
けど、とても楽しかった」、
「子どもたちが喜んでくれて
良かった」、「役に立てて良か
った」など、輝く笑顔を見せ
てくださいました。
その後の女子会ランチ、さぞ
美味しかったでしょうね！





今日は風が強く寒くなりましたが、4年2組のみんなは中庭で土器洗いに挑戦です。教えてくださるのは、教育委員会生涯学習係のKさん。最初に「間違えたり忘れたりするので慌てないこと。自分のペースで、人の速さに合わせない。アレッと思うことが大事」とKさんからアドバイスを受けました。

採取地域が混じらないように注意をほらい、冷たい水で歯ブラシを使って土器を洗う子どもたち。みんな飽きることなく、持ってきた土器すべてを洗ってしまいました。中には石器を見つける子も。

部屋に入り、質問の時間では、

Q：土器に含まれている白いものは何ですか？

A：粘土だけでは縮むので、砂を入れて、縮みにくく壊れにくく工夫した。

Q：お湯で洗って大丈夫ですか？

A：焼いてあるので溶けない。

などなど鋭い質問もありました。

最後はKさんが全員の感想文に目を通し、一人一人に声をかけていました。丁寧な対応をいただきありがとうございました。



うめっこ育て隊日記 ⑥1 平成30年11月19日(月)、20日(火)

今回は2日にわたり駅前の輪苑で、Iさんが1年生の子どもたちに自然遊びを教えてくださいました。

はじめに「ひっつき虫があっちのほうにあるけど、種が体についてもいい子は行けばいいし、嫌な人は行かなくていいよ」と声をかけると、子どもたちはこぞって草むらに向かって走り出し、体中に種をつけ、先生や友達にとってもらってはまたつけて得意顔になっていました。また、枯葉を集め、フワフワの感触を楽しむ子や、枯葉のフーケを作る子も。寒い季節でも池の中には生き物がいて、冷たい水に濡れながらも元気に遊ぶ姿もありました。

そんな元気な様子を、嬉しそうに見守るIさんでした。

足に付けたヌスビトハギの種を見せるIさん



スポンいっぱい種を誇らしげに見せる子どもたち



うめっこ育て隊日記 ⑥2 平成30年11月29日(木)

小学校のPTA総会の前に、コミュニティスクール伊藤一幸運営委員長から保護者の皆さんに、「保護者の皆さんもぜひ、うめっこ育て隊に登録いただいてボランティアとして学校や保育園の子どもたちの支援をお願いします」と話がありました。登録用紙とこれまでのうめっこ育て隊の活動一覧を配布。それを見た保護者からは、「こんな活動をしているのね、知らなかった」「私は既に登録していますよ。遊びの支援でね」「こんなことなら私もできるかな」などの声が聞かれました。

どんな小さな支援でも結構です。できる範囲でご登録をよろしくお願いします。

